

この町の祭りは“夜”に盛り上がる
行列、綱引き、火渡り神事
どれも見逃せない！



▲ 腕組みをしてぶつかり合う「もみ合い」の後、
激しい綱の引き合いが始まる。どちらも迫力満点！

ながたにまんねんがんぼんつなひき
◆ 永谷万年願盆綱引き

町指定文化財

鞍手町の永谷地区で、毎年8月14日の盆行事として行われています。地区内で上組と下組に分かれ、藤かずらを結びつけた大綱を勇壮に引き合います。飢饉や疫病で苦しむ村を救った博多の大商人・白水幽心への恩を忘れないため、また先祖供養のために、約360年もの間受け継がれています。

期間 / 毎年8月14日
会場 / 鞍手町 永谷地区
真教寺山門前(鞍手町大字永谷901)



◆ 八剣神社
ゆたてかぐら
湯立神楽

町指定文化財

八剣神社で毎年10月に行われている伝統行事で、天正15(1587)年に奉納された記録が残されています。「湯立神楽」とは、釜で湯を煮えたぎらせ、その湯を使って神事を行うもので、無病息災や五穀豊穡を願うものです。現在、筑豊地方で唯一継承されている湯立神楽です。

期間 / 毎年10月
会場 / 八剣神社
(鞍手町大字中山862-1)

◀ 火渡りが行われた後の燃え残った炭は、病氣や災い除けの縁起物として持ち帰られている。

つるぎじんじやせんぐうぎょうれつ
◆ 剣神社遷宮行列 町指定文化財

応永年間(1394~1428年)を起源とし、4年ごとに行われる剣神社の遷宮行列。10月の日没より神事が行われ、神社を出た神輿の列に大名行列が連なります。大名行列にちなんでいろいろな道具を持った人々が、先払いの声に合わせ、独特の足さばきで夜道を進む風景は一見の価値あり！行列は木月の町筋を練り歩いて、剣神社へと戻ります。

期間 / 4年ごとに開催 10月 日没より ※日には要問い合わせ
会場 / 鞍手町 木月地区 剣神社(鞍手町大字木月1349)

剣神社の大名行列は、明治時代に八所宮(宗像市)で行われていたものを取り入れたといわれる。▶



▲ 白衣に白袴を来た神職が、笹束を釜の湯に浸して両脇に抱え、熱せられた地面の上を裸足で走る。



夜の伝統行事には、
不思議な
高揚感がある

